

# 令和3年度 事務事業評価シート（1）

## [ 令和2年度事務事業 ]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	世界遺産登録記念展示事業			事業番号	008-042
担当部署名	文化観光	局	博物館	部	学芸課

### I. 基本情報

#### 事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～	施策	(1) 世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の継承と魅力の創出	
			有	取組の方向性	①百舌鳥古墳群の保全・継承とゲートウェイ機能の強化			
		寄与するKPI	有・無	指標名	大仙公園エリアへの来訪者数			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(8)働きがいも経済成長も	ターゲット	8.9	
			有	取組	茶の湯や地域の祭り、文化財などの歴史文化の保全・魅力発信			
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—		

2	関連計画					
3	事業開始年度	平成 30 年度	終了（予定）年度	令和 3 年度		
4	実施根拠（根拠法令、条例等）	博物館法・文化財保護法				

#### 事業の概要

5	事業の実施主体（実施主体となる団体等）	出先機関
6	事業の対象（対象とする人・物、対象数）	市民及び本市への来訪者
7	事業の目的（事業実施によりめざす状態）	「百舌鳥・古市古墳群」の世界遺産登録に向けた機運の醸成及び登録後における市民及び来訪者への古墳群の理解の促進を図るなど、満足度を向上させる。
8	事業内容（目的を達成するための手段）	企画展・特別展の開催 当初の計画では、「百舌鳥・古市古墳群」の世界遺産登録年の前後の3年度にわたり、同古墳群とその時代に関連する企画展・特別展を開催し、市民や来訪者に対して、古墳群の歴史的価値や魅力についての理解を深める目的で実施した。平成30年度は企画展「堺に窺がやってきた—古墳時代・やきもの技術革新—」、令和元年度は特別展「百舌鳥古墳群—巨大墓の時代—」を開催した。令和2年度は5世紀の東アジアとの交流から、百舌鳥古墳群を考える特別展「海を越えたつながり—倭の五王と東アジア—」を令和2年10月から開催する予定であったが、コロナ禍の影響により、令和3年3月～5月に年度をまたいで開催することとなった。なお、当該事業については、令和3年度をもって終了する。（*令和2年度の特別展「海を越えたつながり—倭の五王と東アジア—」は、債務負担行為により開催した）
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	委託業務の受注者
10	公民連携・協働事業	

### II. 事業目的の達成状況

#### 事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標 終了(予定)年度
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和3年度
11 1日あたりの観覧者数	人	目標値	300	300	200	—
		実績値	648	216		
		達成率	216%	72%		
		当該指標を選定した理由	企画展・特別展の開催による効果は、直接観覧者数に現れるため。			
目標値の設定根拠・算出方法	観覧者実数					
12 新聞等への掲載回数（有料広告含む）	件	目標値	4	4	6	
		実績値	4	6		
		達成率	100%	150%		
		当該指標を選定した理由	博物館の魅力を発信する上で、新聞や雑誌等の取材による掲載は、成果目標達成のための1つの手段となるため。			
目標値の設定根拠・算出方法	新聞・雑誌等への掲載回数					

## 令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	世界遺産登録記念展示事業	事業番号	008-042
-------	--------------	------	---------

### Ⅲ. 投入量

#### 事業コスト

(単位：千円)

事業費	項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
		決算	決算	予算	決算	予算
13	事業費 (a)	11,169	12,506	24,316	6,526	11,860
財源内訳	国支出金					
	府支出金					
	市債					
	その他 (基金繰入金・物品売払収入等)	5,100	608		250	
	受益者負担金(使用料、手数料等)	149	6,088	8,029	602	5,510
	一般財源	5,920	5,810	16,287	5,674	6,350
14	人件費 (b)	9,040	11,400	15,760	19,040	16,400
15	年間経費(c)=(a)+(b)	20,209	23,906	40,076	25,566	28,260

#### 事業費の内訳

(単位：千円)

事業費内訳	項目	年度		事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
		R2	決算				R2	決算		
16	謝礼金	R2	決算	117	117	展覧会運搬展示業務	R2	決算	0	0
		R3	予算	323	323		R3	予算	4,800	0
	旅費	R2	決算	248	248	図面、図書、台帳の作成又は修正等委託料	R2	決算	1,483	881
		R3	予算	533	533		R3	予算	600	600
	需用費	R2	決算	509	259	人材派遣委託料	R2	決算	3,622	3,622
		R3	予算	0	0		R3	予算	0	0
	役務費	R2	決算	547	547	各業務委託料	R2	決算	0	0
		R3	予算	50	50		R3	予算	1,964	1,964
	会場設営業務	R2	決算	0	0	使用料及び賃借料	R2	決算	0	0
		R3	予算	3,390	2,680		R3	予算	200	200

### Ⅳ. 事業の効率性

#### 単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
① 観覧者総数	人	40,821	-
② 上記①にかかる年間経費	千円	23,906	-
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	586	

備考 (算出についての説明等) 令和2年度の特別展は、年度をまたいで開催のため、データは掲載できない。

### Ⅴ. 評価

#### 費用対効果に係る所見

18 令和元年度の特別展は、世界遺産登録直後ということもあり開館72日間で35,324人の観覧者があった。令和2年度においては、当初10月での特別展開催を予定していたが、コロナ禍の影響から延期を余儀なくされ、会期を3月13日から5月9日に変更し開催に至った。予算面においては、会期が年度をまたぐことから、債務負担行為での執行となり、コロナ禍の影響により、韓国からの資料借用や講師派遣ができなくなったことにより、経費を大幅に減額することができた。しかしながら、4月5日からのまん延防止等重点措置による観覧者の減少、その後の緊急事態宣言による臨時休館（4/25～）など、開館38日間で、6,350人の来館者数で、費用対効果として非常に厳しい結果となった。

#### KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19 コロナ禍の影響を大きく受けた特別展であったが、世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の歴史的価値と魅力を紹介するうえで有効な展覧会となった。展覧会に来ることができない方々に対しては、オンラインで展示内容を紹介する動画配信をはじめ、国際シンポジウムのオンライン開催など、新たな手法・媒体による古墳の魅力の情報発信を行った。特に国際シンポジウムでは、韓国の講師とのオンライン中継を実施するなど、新たな試みを実現できたことは、大きな成果である。